

福岡市職員 文化学芸職（古文書）採用選考 事前課題作成要領

福岡市教育委員会総合図書館

応募者は、選考申込書類提出（7月31日（水）締切）の後、8月20日（火）までの必着で、次の2種類の事前課題を双方とも提出してください。9月1日（日）又は2日（月）に行う口頭試問（一般及び専門）において、内容について質疑応答をします。事前課題についても、その時の応答と合わせて評点の対象とします。

事前課題1 = 小論文

(1) テーマ

福岡の古文書資料を後世へ残す意義

(2) 分量

○本文1200字以上2000字以内、題名と氏名は字数に含みません。

○小見出しを入れることも可能です。小見出しは本文の文字数に含みます。

(3) 体裁

○日本語で、原則としてPC等によるフォントを用いるものとします。

○PDFファイルで、A4サイズ縦、横書き1枚に収めてください。

・24字×96行以内（2段組とし、1段を48行以内とします）

・上下左右の余白を22ミリ程度とし、フォントは9.5ポイントで明朝系とします。

○冒頭2～3行程度で、小論文の論旨を端的に示す題名と、氏名を記してください。

○本文を補足するため図表を用いることは可能です。図表中の文字数は本文の文字数には含みませんが、図表も本文と合わせてA4サイズ1枚以内とします。

事前課題 2 = 古文書資料の解説文

(1) 記載事項

- 福岡市総合図書館が収蔵している古文書資料の解説を参考にし、様々な市民が来館する図書館の利用者向けに、分かりやすく要約した配布リーフレット用の解説文を作成してください。
- 記載事項は基本的には任意としますが、次の項目については冒頭に必ず記載してください。
 - ①氏名
 - ②解説文の題名
 - ③古文書資料の資料群名（例：「伊丹資料」「金山尚志資料」など）
- 記載された文章の内容のみを評価の対象とし、デザインは評価の対象としません。
- リーフレット用解説文の基となる当館収蔵資料の解説については、冊子目録『古文書資料目録』（福岡市総合図書館発行）1号～26号及び福岡市総合図書館HPに掲載されている「解説・解題(目録1 伊丹資料・目録19～26 所収資料・令和4年度以降 DB 公開資料)」を確認の上、1つの資料群を選んでください。
https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/files/MaterialDetail/MaterialDetail_2664_file.pdf
- 資料群（「伊丹資料」など）全体の概要でも、その資料群に所収された個別の資料をピックアップする内容でも、どちらとも可とします。

(2) 分量

- 字数は500字以上1000字以内。
- (1) ①～③は字数に含みません。
- 小見出しを入れることも可能です。小見出しは本文の文字数に含みます。
- ルビは（ ）で表記してください。ルビも文字数に含みます。

(3) 体裁

- 日本語で、原則としてPC等によるフォントを用いるものとします。
- PDFファイルで、A4サイズ縦、横書き1枚に収めてください。フォントサイズは本文を10.5ポイント以上とします。フォントの種類は自由です。
- 文字のみとし、図版は不可とします。
- 使用言語は日本語とします。

【提出について】

- 令和6年8月20日（火）必着で、事前課題を2種類とも提出してください。
- ファイル形式を各々PDFに変換し、ファイルサイズを各々3MB以下にしたうえで、2つのファイルを komonjo-saiyo@city.fukuoka.lg.jp へメールしてください。
- ファイル名は、各々「氏名（小論文）」及び「氏名（解説文）」としてください。
- 当方にて確認後、受領した旨の返信メールを送ります。8月23日（金）までに受領した旨のメールが当方から届かないときには、送信メールアドレスを再確認後、再送信し、電話（092-852-0634）で受領を確認してください。
- 提出物は返却しません。採用選考以外の目的で受験者に無断で使用することはありません。提出物は、採用選考の事務に限り複製する場合があります。口頭試問の際には、ご自分の控えとして提出物と同じ資料を持参してください。

【問い合わせ等】

福岡市総合図書館 文学・映像課

メール komonjo-saiyo@city.fukuoka.lg.jp 電話 092-852-0634 FAX092-852-0609

【事情により PDF ファイルのメール添付による提出ができない場合の郵送先】

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 文学・映像課
※必ず事前に連絡、確認のうえでの郵送をお願いします。